

---

# 覇龍と崩龍その雑種

即席兵器

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

覇龍と崩龍その雑種

### 【Nコード】

N2205N

### 【作者名】

即席兵器

### 【あらすじ】

モンスターハンターの世界に生まれたとある雑種の物語である。

駄文注意報発生中

**(前書き)**

初投稿です駄文すみません。

それでもいいという方のみこの先を読んでください。

ここは多くの方が知っているモンスターハンター通称「モンハン」の世界である。

その世界に生きる一匹の龍の生態を書いたものがこれである……

午前4時 起床

僕の朝は二度寝から始まるZZZ……

午前6時 今度こそ起床

今度こそ起きるとまず眠気覚ましのために毎日やっていることをやる。

それは、近くの砦を無断突破！

当然だがハンターは「こんな朝早くから毎度毎度おこせんなあ！」

「一回マジで倒されるあほ龍う！」等と叫びながら突っ込んでくる。

雑種だが、仮にも覇龍と崩龍の血を受け継いだのでそう上位ハンター

なら簡単に死にはしない！まあ何度かGハンターが出てきて死にかけたけど……

それはそうと最近ではそれ（襲撃）をイベント化しようとその村長がいろいろ画策しているらしく対応がやたらと早いし撃龍槍が強化されている。もしかしてわざと死人を出さないようしてるのばれたかな？

午前7時50分 移動

眠気覚ましが終わったところで体力回復のための食事をする場所に移動。

最近お腹が減ってたまらないんだよねー成長きかな？

午後8時30分 食事

最近はグラビモスが主食ですがときどき蟹達も食べる。うん、蟹味噌はうまいわ。やめられない、止まらない、サザミソ！いちど食べたら1週間の間に1回は食べないとおかしくなるくらいおいしいのだ。人間だって絶対おいしくいただけます。僕が保障するよ。(火山のが特に良い)

午後11時 雑談

僕の数少ない友達との雑談。最近はミラボレアス君と話す事がおおいかと思う。ちなみにボレアス君は最近シュレイド城に行くやめたんだって。その代わりに朝の襲撃に参加するつもりなんだとか…まあ人間はそうとうまずいことになるだろうから一応手加減はするよ。うにいつといた。まあそれで止まったら苦労しないんだけどね。

午後2時47分 食事

朝とは違い今度は雪山でもぐもぐ食事をしています。今ティガレックスを食べてますが思ったよりもおいしくありません。ポポの方が数倍おいしいよ、食べるんじゃないかというレベルでわないかあまあいいけどね。

あ、後ギアノスが案外おいしかった。これは新発見！みんなつたえたほうがいいね。

午後4時 修行？

ボレアス君と単純な肉弾戦の訓練開始。50分間やったけどどうも攻撃力はボレアス君のほうが上のようだ。まっ、防御は僕が圧倒したけどね。

午後5時55分 休憩という名の仮死状態

まさか訓練の直後疲れているところに、それもこんな秘境にひとが(ハンター)が来るとは思ってたせいでかなり苦戦の末撃退。本当に死ぬかと思った……

いやほんと良く死ななかつたと思う、でも体が動きません。今、攻撃されたら間違ひなく死ねる。

まだいやだ、まだ死にたくない……………（がくつ）  
気絶兼仮死状態回復まで1時間は必要。

午後7時 復活

意識がもどって起きてみたらちゃんと生きてるみたいだ。はあく、良かった、良かった。

でも、このことを知られたのでここに居続けるのは危ないので食事がてら地中に潜って大移動！

さあ、どこに何を食べに行こうかな？

午後9時15分 食事

本日最後の食事はなんとキリン！驚いたでしょうっ？

穴から出たところにいたので本日のメインディッシュになってもらうことに。ごめんキリンよこれが自然の掟なのさ……………

とそんなこたは置いてさっき見つけたはぐれアイルー達に料理（半分齧ってやってもらってる）をしてもらってる。いやーいいにおいだ。いつも生で食べているのでちよつと味がきになるところ…  
つてもうできたの？さすがプロは仕事が違うね！早い、安いときたらうまいだね。

ではでは、いただきます！

バクバクゴツクン

…あ、一気にたべちゃた。

まあ、味はおいしかったです。はい、とつても。でも量がもっとほしかったこの3倍くらいがほしかったorz

午後11時 就寝

ああ、今日も一日が終わっていく……………

明日もまたいつまでもどうり皆突破してご飯食べての生活をしよう。

たとえ籠らしくないといわれてもこの生活を続けよう。  
では、おやすみ……………

こんな生活をしている籠もいるのだから人と籠の相互理解の日も近  
いかも

追記：この話はフィクションです。

なおこの籠は古籠に近いものとして考えています。

(後書き)

本当に駄文、申し訳ございませんでした。

最後まで、読んでいただいた皆様ありがとうございました。

これからも日々精進いたしますゆえ温かい目でみてください。

この話の続編をいつか連載させようと思っておりますのでどんどんご意見感想をお書きください。(この龍の名前等も大歓迎です)  
作者はお待ちしております。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2205n/>

---

覇龍と崩龍その雑種

2010年10月10日20時39分発行